

マルヒロから版

2021年

新春！1月号



謹んで新年のお慶びを申し上げます



令和3年が始まりました。

開業して6年目を迎え、今年は厳しい社会情勢になるかと思われませんが、強い気持ちと信念を持ち、引き続き精進していける様、努力して参ります。
どうぞ、本年も宜しくお願い申し上げます。

～令和3年、丑年です～

十二支おける2021年（令和3年）は丑年です。

～「丑」の意味は～

「丑」という字の由来ですが、牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。また「紐」という漢字に「丑」の字が使われおり、「結ぶ」や「つかむ」などの意味を込めたとも考えられています。

●丑年にあった出来事

- ・1949年（昭和24年）…東京証券取引所が設立
- ・1961年（昭和36年）…ジョン・F・ケネディ大統領が就任
- ・1973年（昭和48年）…祝日法が改正し、振替休日制の導入がはじまる
- ・1985年（昭和60年）…プラザ合意による円高不況からバブル景気へ
- ・1997年（平成9年）…香港がイギリスから返還される
- ・2009年（平成21年）…新型インフルエンザによる、パンデミック宣言

●丑年の特徴は？

丑は十二支の2番目で、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には先を急がず、目の前を確実に進めることが将来の成功につながっていくといわれています。

●十二支の2番目

もともと十二支は動物とは無関係のもので、東西南北の方角に「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」と漢字をあてていましたが、十二支を覚えやすくするために、その字に動物をあてはめたものです。今年はその2番目にあたります。

- ・方位は北北東からやや南寄り
- ・刻は午前2時を中心とする約2時間
- ・月は旧暦の12月（新暦で概ね10月下旬～11月下旬）です

● 丑年の豆知識！

○ 牛と天満宮・天神様との関係

学問の神様・菅原道真をまつる天満宮には牛の像が置かれています。これは、**天満宮の神使（神の使いとされる動物）だから**だそうです。



「菅原道真が丑年だったから」
「道真が暗殺されそうになったところを飼い牛が救ったから」
「道真の遺体を運んでいるときに牛が座り込んで動かなくなったので、そこに埋葬した（その場所が大宰府天満宮）」
「黙々と働く牛の様子は道真の教えに通ずるものがあるから」

など、菅原道真と牛にまつわる様々ないわれがあります。

ですので、**大宰府天満宮**や**京都の北野天神**にはいくつか牛の像がありますが、そのどの牛も**“座り込んだ姿”**をしています。

また、仏教が生まれた**“インドでも牛は神様”**として大切にされています。

前述と同じく、牛には神に近い尊いイメージがあるようです。

“神に近い”とされる牛が干支ということならば、今年**は縁起の良い年**になることを期待したいところです。

○ 牛がいつも“口を動かしている”理由

牛といえば、のどかに口を動かしていることが多いですが、そこに牛のすぐれた特徴があります。

牛には4つの胃袋があり、一度飲み込んだ食べ物を**再び口の中に戻して反すうする特徴**があります（ちなみに、焼き肉屋さんでは、第1胃をミノ、第2胃をセンマイ、第3胃をハチノス、第4胃をギアラと呼ぶのだそうです）。



反すうして細かく噛み砕いた食べ物を胃の中の微生物が食べ、その結果**微生物が大量に増殖**し、それを牛が消化して栄養にしているため、**タンパク質豊富な牛乳や肉になる**のだそう。私たちもその恩恵にあずかっているわけです。

○ 最後に、丑や牛にまつわる「ことわざ」など

- ・牛の歩みも千里 → 努力を怠らなければ、成果が上がることのたとえ
- ・牛の耳に経文 → 「馬の耳に念仏」と同じ。説き聞かせても何の効果もなし
- ・牛の角を蜂が刺す → 何かされても、痛くもなんともないこと
- ・牛耳を執る、牛耳る → 集団の実権を握り、思うままに支配することのたとえ。
春秋戦国時代の中国の故事に由来。

「**お困り事はありますか？**」

私たちは、**土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立てます！**

～土地・建物のよろず屋～

今年も宜しければ
一度お声掛けください！



マルヒロ不動産

名古屋市中村区横前町109番地
TEL: 052-413-4628

